

健康・生活アンケートの結果について（抜粋版）

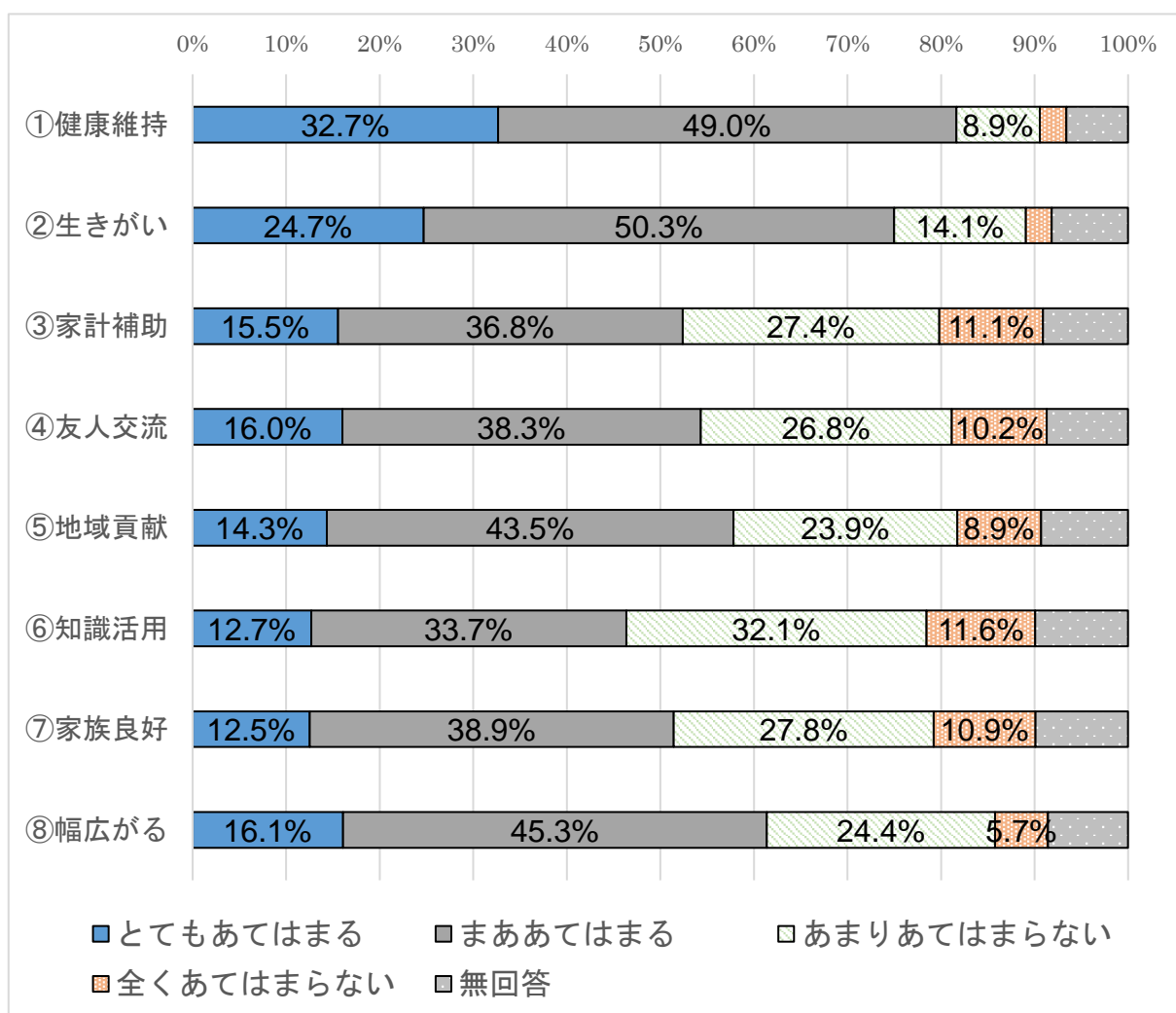
【調査概要】（調査実施時期：平成 30 年 3 月 8 日～5 月 14 日、対象：調査時点に在籍する会員、配布数：3,130 通、有効回収数：1,973 通（回収率 63.0%））

I 会員が実感する効果

シルバー人材センターの会員であることで「実感している効果」を図表 1 に示しました。「とてもあてはまる」と「まああてはまる」の合計は、＜①健康を維持できる（82%）＞が最も高く、次いで＜②生きがいを得られる（75%）＞となりました。これらは、体を動かす機会や外出の意欲や目的が得られるという点から、介護予防で重視されているポイントでもあります。

以上の結果から、シルバー人材センター会員の多くが、“生きがい就業”による「健康維持」「生きがい」の効果を実感しており、それが介護予防につながる活動（就業）の継続（サイクル）にもつながることが示されました。

図表 1 大田区 SC センターの会員であることの意味（メリット）（N=1,911 人）



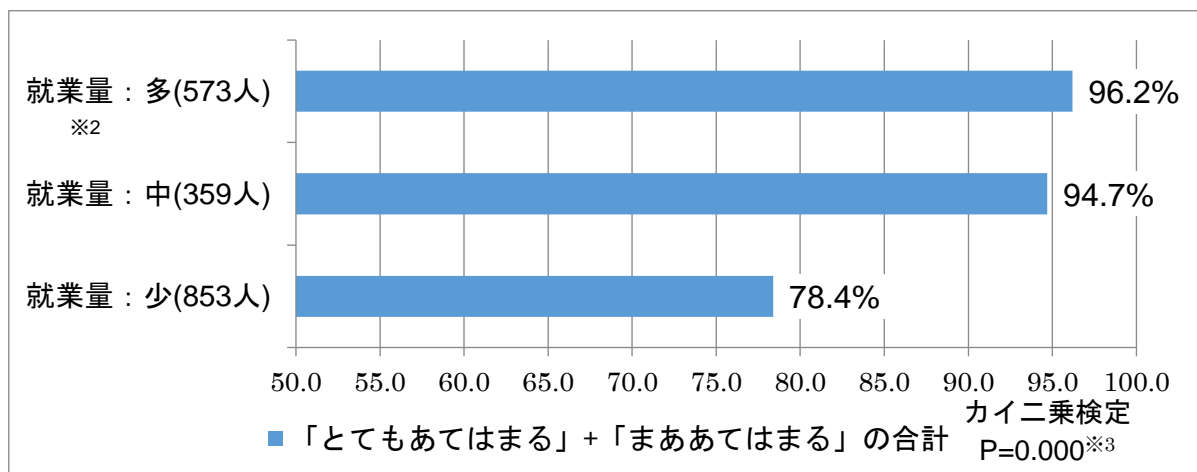
II 評価結果と仕事量との関係

ここで、図表1の「健康維持」と「生きがい」への回答結果を、シルバーでの会員の就業量別に分析した結果を図表2と図表3に示しました。

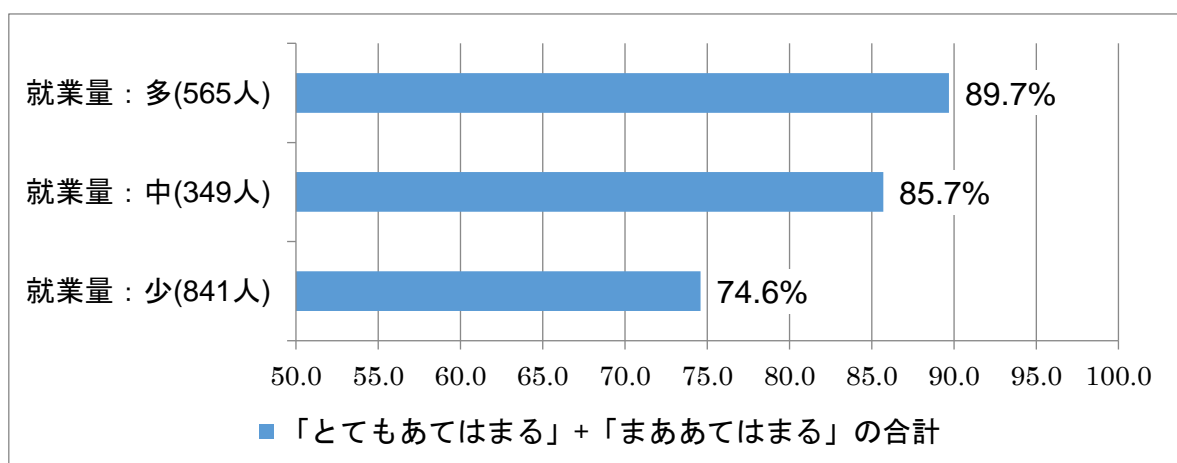
就業量が「少ない」群よりも「多い」群の方が、効果を実感する会員の割合もやや高くなる傾向が見られます。ただし、大田区シルバー人材センター就業量が少ない(月額2万円未満)会員でも、「健康維持」、「生きがい」でともに7~8割が効果を実感しています。

以上の結果から、就業量(=活動頻度)が多い方が高評価の割合が高まるものの、活動頻度が少なくとも「健康維持」や「生きがい」の効果や意義を実感する会員は多く、個人の希望に応じて活動の機会を提供することが重要と考えられました。

図表2 就業量別にみた「健康維持」に対する評価 (N=1,785人)※1



図表3 就業量別にみた「生きがい」に対する評価 (N=1,755人) ※1



(注記)※1：回答者1,911人のうち、当該項目に回答し、且つ就業実績の確認できた会員数。

※2：就業量の区分(配分金の平均月額) 少:2万円未満 中:2~4万円 多:4万円以上

※3：各群の割合を統計的に検定した結果。p<0.05なら「有意な差がある」とみなす。